

# 競技注意事項

**1 本大会は2024年度(一財)愛知陸上競技協会「小学生友の会ルール」で行う。**

## **2 アスリートビブス(ナンバーカード)について**

- (1) プログラム記載のものをユニホームの胸、背に確実につける。
- (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を必ず競技者係から受け取る。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。リレーは、第4走者(アンカー)がつける。フィニッシュ後、直ちに回収係に返却する。

## **3 レーン・試技順について**

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2) 欠場者のレーンはあける。

## **4 招集について**

- (1) 招集所は、100mスタート後方に設ける。
- (2) 招集の受付は本人(代理人は認めない)が行い、時間に遅れた者は出場を認めない。招集指導は引率者の引率で行う。リレーは4人が揃って招集を受ける。(リレー選手で長距離競技に出場するものは、招集に間に合わない可能性があるため、長距離競技招集時に申し出ること)
- (3) リレーオーダー用紙は、招集完了時間1時間前までに招集所へ提出する。オーダー用紙は、朝の団体受付時に受け取る。(招集所にも準備、愛知陸協HP・友の会ページでダウンロードも可能)
- (4) 選手の誘導は各団体の引率者が行う。

## **5 ウォーミングアップについて**

- (1) できる限り集団でのアップはせず、密にならない様に行う。事故等の起こらない様に引率者が付き添って行う。
- (2) 競技場内については、朝のハードル練習と、ジャベリックボール投げ終了後のリレー練習を可能とする。
  - ・ Jogや体操は禁止とする。
  - ・ ハードル練習は、準備の邪魔にならない様にする。準備されたものを使用し役員の指示により行う。ハードル練習には必ず引率者が付き添いを行う。
  - ・ リレー競技の練習は、長距離種目の競技中となるため、練習で使用できるレーンは、バックストレートの6～8レーンのみとする。
- (3) 競技場外は、公園利用者の迷惑とならない様に注意して行う。

## **6 競技について(友の会ルール)**

- (1) スターターの合図は英語「On your marks」「Set」で行い、不正スタートは、一人が2回で失格とする。スタートの方法は、クラウチングスタートとする。3年生以下50mは、スターティングブロックは使用しない。スタンディングスタートとする。
- (2) 混合リレーのオーダーは、男女各2名で編成し、走順は自由とする。
- (3) 80mハードルの規格

	台数	高さ	スタート～第1ハードル	ハードル間	最終ハードル～フィニッシュ
5・6年生	9台	0.70m	13m	7m	11m
4年生	9台	0.60m	13m	7m	11m

- (4) フィールド種目の競技開始前の練習は、審判員の指示によって行う。
- (5) ジャベリックボール投げは、ジャベリックボール投げは、競技場外バックストレートで行う。競技注意事項最終ページの「ジャベリックボール投げの競技運営方法」を参照する。規定の投げ方(にぎり持ち)で、助走距離は15m以内、試技は1人3回とし、すべて計測する。
- (6) 走幅跳の試技は1人3回とし、すべて計測する。
- (7) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。(足裏以外の着地は認めない)3回連続失敗した時点で終了とする。バーの上げ方は、下記のとおりとする。

学年	練習	1	2	3	4	5	
4年生	80cm	85cm	90cm	95cm	1m00	1m05	以後5cm
5年生	95cm	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後5cm
6年生	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以後5cm

※第1位決定のバーの上げ下げは2cmとする。

- (8) 本大会において、愛知県小学生陸上競技選手権大会(11月4日)の参加資格記録を突破した者は、大会への参加資格を得られる。参加を希望する場合は、愛知陸協ホームページを参照し、参加申し込みをすること。

## 7 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具(スターティングブロック・バトン・ハードル)は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) ジャベボール(ニシスポーツ NT5201)は出場者一人につき1個持参し使用する。他競技者とは共用しない。
- (3) リレーと走幅跳の助走に使用するマークは主催者が用意する。走高跳・ジャベリックボール投げの助走に使用するマークは2個までとし、選手が持参する。

## 8 団体受付について

- (1) 団体受付は、本部室前(ゴール後方)、競技開始後は大会本部に設ける。但し、ロビーは一般利用者が利用するため、引率者及び落とし物の問い合わせ以外は入らないこと。各団体の集合場所等はしっかり団体で連絡しておくこと。
- (2) 大会中の落とし物は団体受付で対応する。

## 9 競技場内及びスタンド入退場・待機について

- (1) スタンド(バックスタンド含む)は、選手・引率者・選手の家族が入場出来る。
- (2) 競技場内は、選手と引率者が入場できる。
- (3) 出入口は、2階スタンド出入口(2ヶ所)のみとする。
- (4) スタンドでは、着席して応援する。通路等に立っての応援や撮影は禁止する。

## 10 その他

- (1) トラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分のレーン(曲走路)を走り、減速し止まる。

- (2) リレーの第1・第2・第3の各走者は、バトンを渡した後も他のレーン（チーム）の走者が、全員通過し競技役員の指示があるまで自分のレーンにとどまること。他のチームの妨害にならないよう注意する。
- (3) プログラムの氏名・所属等の間違いがあれば、チームの責任者が団体受付時に申し出る。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (4) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。盗難に注意すること。

